2026-042

救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用のお知らせ

名古屋掖済会病院は以下の研究に協力しています。

〔研究課題名〕

救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用

〔研究代表者(所属)〕

三宅 康史(一般社団法人日本臨床救急医学会 自傷・自殺未遂レジストリ運営ワーキンググループ 委員、
厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター 客員研究員、
一般社団法人臨床教育推進機構 理事、帝京大学医学部救急医学講座 客員教授)

〔当院[当センター]における研究協力者(所属)〕

後藤 縁(救急科)

〔研究の期間〕

2022 年 12 月 1 日～2030 年 3 月 31 日。期間は更新されることがあり、その場合にはあらためて告知します。

〔研究の目的と意義〕

医療におけるレジストリとは「特定の疾患などに関する情報の収集を目的として構築されたデータベース」のことで、「自傷・自殺未遂レジストリ」では、自傷・自殺未遂により救急医療機関に搬送された方の情報を収集します。自傷・自殺未遂は自殺の重要なリスク因子であり、その実態を把握することは世界保健機関(WHO)にも推奨されています。本研究は、我が国で初めて全国規模で自傷・自殺未遂者の方々のデータを収集するもので、それらの方々の実態や医療機関における診療状況などを調査し、その後の対策に活用することで、再度の自傷・自殺行為の防止や、自傷・自殺未遂者の方々に対する適切な対応などを検討することを目的とし、それにより医療の質的向上と有効な自殺対策の確立を目指します。

〔対象者・研究方法〕

対象者:上記研究期間に自傷・自殺未遂により本研究に参加している医療機関の救命救急センターを受診された全ての方を対象としています。

研究方法:本研究に参加する医療機関において、診療録に記載された医療情報(年齢や性別、受診日時、行為の日時・手段・場所・行為時の状況、受診時の身体的・精神的状況、入院の有無・治療後の状況等)、自傷・自殺未遂歴を含むこれまでの状況に関する情報、家族や生活の状況などを抽出し、個人を特定できないよう匿名化を行った上で、コンピュータ上のシステムに記録します。記録されたデータは安全な通信経路を介して蓄積されます。この「自傷・自殺未遂レジストリ」は、一般社団法人日本臨床救急医学会および一般社団法人いのち支える自殺対策推進センターが共同で管理・運用し、蓄積されたデータは、本研究に参加する医療機関(研究協力機関)等が研究に利用します。

〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定され得る情報は登録しません。登録する医療機関では、対照表を用いて情報を管理しますが、第三者に個人情報が知られることは一切ありません (対照表は研究終了時に破棄します)。自分の情報が本研究に使用されることを希望しない方、一旦登録された情報の抹消を希望される方、本研究についてより詳しい内容をお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

問 い 合 わ せ 先

自傷・自殺未遂レジストリ事務
(一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター内)
問い合わせフォーム:(QR コード⇒)
メールアドレス:registry@jscp.or.jp
https://sites.google.com/jscp.or.jp/jarsa/JA-RSANET JA-RSA

自傷・自殺未遂レジストリへのデータの登録を希望しない・登録済みデータの抹消を希望される方へのお知らせ

本研究に関するお問い合わせは上記お問い合わせフォームからご連絡ください。また、本研究の対象となるご本人または代理人(未成年や判断能力に問題のある方のご家族、成年被後見人等)が本研究への協力を希望されない場合は、データの登録を行わない、あるいは一旦登録されたデータを抹消することができます。データの登録を希望しない場合は受診された翌年の3月31日までに上記お問い合わせフォームにご連絡ください。登録を行わない場合でも、対象者ご本人や代理人の方に不利益を生じることはございません。
なお、データが抹消される前に実施された研究の対象データは、削除することができません。あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。